

平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 広島県 】

1 実践テーマ	【 V 】
2 実施対象者	広島県立世羅高等学校 全校生徒（ 364名 ），教職員（ 36名 ）
3 展開の形式	（1）学校における活動 ① 教科名（ 保健体育科 ）
4 目標 （ねらい）	・生徒がオリンピックの講演を聞くことにより「主体的な学び」や「課題発見・解決学習」に結びつける。 ・オリンピックの講演を聞くことにより自分の生き方を考えさせる。 ・スポーツのもつすばらしさを感じ取らせると同時に 2020 年東京オリンピック・パラリンピックを盛り上げスポーツの普及につなげる。
5 取組内容	・事前に講師のプロフィールなどの紹介，チラシを配付し，HRや体育の授業で意識付けを行った。 ・体育の授業（体育理論）でオリンピック・パラリンピックについて学習を行った。（早稲田大学から提供していただいたオリ・パラクイズに手を加え，グループでのクイズ形式での学習）
6 主な成果	・講演「諦めない心の持ち方」を聞いて「辛いとき，しんどい時こそ，自分が成長できるチャンスなんだと思って，諦めず前を向いていこうと思います。」など多くの生徒がスポーツだけでなく日々の生活においても，前向きな気持ちを持つことができた后感想に書いていた。（<u>自分の生き方として考えさせることができた。</u>） ・トランポリンという競技そのものを知らない生徒も多かったのが，東京オリンピックでトランポリンを見てみたいなど，<u>知らないスポーツにも興味を持つきっかけになった。</u> ・東京オリンピックでボランティアをしたいなど<u>支える側としてスポーツを捉えることができた。</u>
7 実践において工夫した点 （事業の特色）	・事前に講師のプロフィールなどの紹介，チラシを配付し，HRや体育の授業で意識付けを行った。
8 主な課題等	・講演と実技との関連性が薄かった。オリンピック，パラリンピックに関わる実技種目を見たり，一緒にできたりする方がよい。
9 来年度以降の実施予定	・これまでの取組を整理し，来年度以降の取組について，計画途中である。